

## 社会福祉学科

## 社会福祉 専攻

科目名：生涯スポーツ演習				担当教員 氏名：小川 耕平		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	後期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
自らが、生涯を通じ体を動かすための知識と技術を習得し、自分自身が生涯を通じてスポーツに取り組めるようにすると同時に、障害者の運動実践についても知識と技術を身につけることで、幅広いスポーツ実践及びスポーツ指導が可能になることを目指す。						
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7	
A 知識・理解力			生涯スポーツ・障害スポーツに必要な知識について理解する			
D 問題解決力			様々な状況に応じて各人が判断する能力を高める			
F チームワーク・リーダーシップ			チームメイトと協力して実技を行う			
成績評価の方法・基準：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：	%	レポート：	%	発表： 30 %	実技試験：	%
					その他： 70 %	
特記事項：障害者スポーツ指導員初級を取得することが必須です。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 障害者スポーツ指導員初級を取得する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：レポート用紙返却時にコメントにてフィードバック						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション：障害者スポーツ指導員制度について				復習：制度について理解する	20分	
②健康づくりと体力づくりについて：障害者スポーツの意義				復習：障害者のスポーツ実践について理解する	20分	
③健康づくりと体力づくりについて：障害者スポーツの意義と理念・大会の概要				復習：障害者スポーツ大会について理解する	20分	
④体力向上のための運動について				復習：トレーニングの原理・原則を理解する	20分	
⑤スポーツイベントへの参加：障害者との交流(障害者スポーツ大会への参加) ※説明会				復習：障害者スポーツ大会に参加する	20分	
⑥スポーツイベントへの参加：障害者との交流(障害者スポーツ大会への参加) ※集中講義				復習：障害者スポーツ大会に参加する	20分	
⑦スポーツイベントへの参加：障害者との交流(障害者スポーツ大会への参加) ※集中講義				復習：障害者スポーツ大会に参加する	20分	
⑧スポーツイベントへの参加：障害者との交流(障害者スポーツ大会への参加) ※集中講義				復習：障害者スポーツ大会に参加する	20分	
⑨スポーツイベントへの参加：障害者の支援(富山マラソン車いすの部) ※説明会				復習：障害者をサポートする	20分	
⑩スポーツイベントへの参加：障害者の支援(富山マラソン車いすの部) ※集中講義				復習：障害者をサポートする	20分	
⑪スポーツイベントへの参加：障害者の支援(富山マラソン車いすの部) ※集中講義				復習：障害者をサポートする	20分	
⑫運動実践Ⅰ：ウォーキング・ノルディックウォーキング：障害に応じたスポーツの工夫・実施				復習：スポーツを実践する	20分	
⑬運動実践Ⅱ：ジョギング・ランニング：障害に応じたスポーツの工夫・実施				復習：スポーツを実践する	20分	
⑭運動実践Ⅲ：バリアフリーの運動：障害に応じたスポーツの工夫・実施				復習：スポーツを実践する	20分	
⑮振り返りと今後の課題				復習：振り返りを行う	20分	
使用テキスト： 障がいしやスポーツ指導教本 発行：株式会社ぎょうせい ISBN978-4-324-10107-0				その他参考文献など：運動とスポーツの生理学		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 資格取得の関係上、集中講義への参加が必須です。参加できない場合は資格取得ができません。						